

検証問題 6 (2)

大問6は、「言葉遣いの変化」をテーマとして発表するために、4つの【資料】をもとに話し合う場面が設定されている。(2)は、次のことを捉える必要がある。

- ①内田さんは、「テレビの影響を指摘するだけでは不十分」と言っていること
- ②内田さんは、【資料】Bの平成20年度と平成27年度のグラフを比較して読み取れることを述べていること
- ③内田さんの発言の直後の、木村さんの発言（「逆に、新聞や雑誌の影響が大きいと考える割合は減少していますね。」）が、内田さんの発言を受けていること（その発言から、内田さんが「増加している」ものに着目しているといえること）

話題や展開を捉えながら話し合う力や、根拠を明確にして自分の考えを話す力が問われている。

令和2年12月25日 中部教育事務所



H30全国学力・学習状況調査

課題のある問題の概要と結果

B1 (一) 中部42.5 % (全国45.9%)

グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する問題。

文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることに課題が見られた。

R元高知県学力定着状況調査 (1年)

課題のある問題の概要と結果

6 (2) 中部39.9 % (全国39.5%)

話合いで出された課題を捉え、資料をもとにして【話し合いの様子】にあてはまる言葉（自分の考え）を書く問題。

授業改善のPoint I 話全体の流れを捉えて内容を確認めさせる

話の内容を正確に理解するためには、**話全体の流れを捉えること**が必要である。何についてどのような目的で話しているのかを常に意識し、話合いの展開に応じて発言者の立場（賛成、反対、補足、解説、調整、質問など）を整理しながら話合いに参加し、自分の考えをまとめていくことが大切である。

□話合いの流れに沿って、発言内容の関係を整理させる

話し合う際には、話全体の流れを捉え、目的に沿って必要な情報に着目してメモを取りながら聞くことが大切である。「生徒がキーワードを押さえ、矢印や枠囲みを用いて関係を整理できるようになると、話し手の立場や複雑な内容を捉えられるようになる」という見通しを持って、指導する必要がある。

□話合いを振り返り、発言の内容やつながりを確認させる

話合いを録音・録画したものなどを基に、話合いを振り返る場を設定することが大切である。結論につながる鍵となっていた発言を複数挙げて整理し直し、話合いのメモと比較することで、発言の内容やつながりを正しく捉えながら話合いに参加できていたかを確認することが大切である。

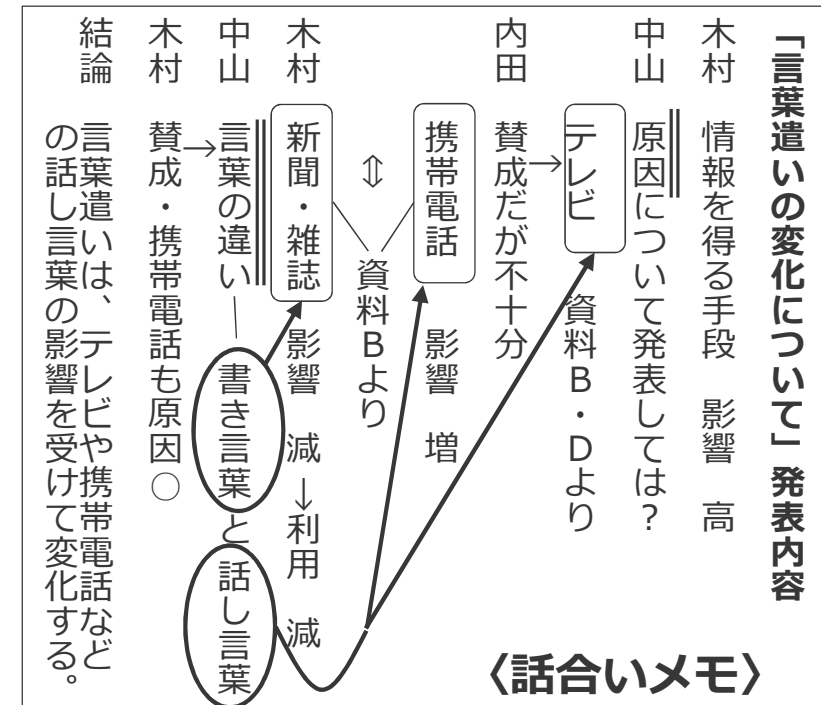


話の一部分だけに着目して、内容や意味を考える。



Good

話全体の流れを捉え、発言者の立場を整理しながら、内容や意味を捉える。



授業改善のPoint II 意見と根拠の結びつきを明確に表現させる

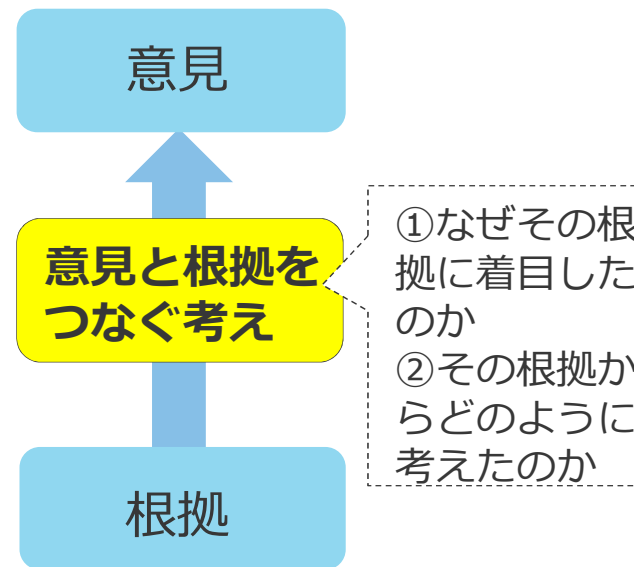
自分の意見を述べるときには、「**意見の根拠となる事実や事象(図表や文章なども含む)の、どの部分に着目し、どのように考え、自分の意見を打ち出しているのか**」を明確に伝えることによって、自分の考えを他者と共有できる。このように、意見と根拠をつなぐ考えを話したり書いたりして、思考の道筋を確かめ合うことを土台として、互いの考えの相違点を捉えて話し合ったり、自分の考えの修正点を見付けたりしながら、考えを深めていく授業改善が求められる。

□ 図表や文章から捉えたことを説明させる

図表や文章から根拠となる情報を取り出すときには、図表や文章を指し示しながら、どこに着目したのか、そこから何が分かるのかを明確に言葉で表現させることが大切である。

□ 意見と根拠のつながりを説明させる

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全ての領域で、意図的、計画的に、意見と根拠のつながりを捉えて表現させ、その妥当性を検証していくことが大切である。国語科の授業だけでなく、あらゆる学習の場面で行っていきたい。



意見

私は、テレビの他に言葉遣いに影響を与えるものとして、携帯電話を挙げる必要があると思います。

根拠

なぜかという、資料Bの「言葉遣いに大きな影響を与える情報機器は何だと思いますか」のグラフを見ると、「携帯電話」は平成20年度には14.3%だったのが、平成27年度には34.3%に増加している一方、「携帯電話」以外の数値は、全て減少しているからです。

つ意見と根拠をつなぐ考え

言葉遣いへの影響力が以前より多くの人々に感じられるように変化しているのは「携帯電話」だけという点から、携帯電話の影響は無視できません。

関連資料

【文部科学省】

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説国語編 p.46、p.55～56、p.58

【国立教育政策研究所】

平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例
（国立教育政策研究所HPよりダウンロードできます）

【国立教育政策研究所】

令和2年度 全国学力・学習状況調査 使ってみよう！学力調査 中学校国語 P.6～
「スピーチをする（書道パフォーマンス）」
（国立教育政策研究所HPよりダウンロードできます）



【国立教育政策研究所】

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校国語）
第3編 第2章 2 事例3「『走れメロス』を読んで、登場人物の言動の意味を語り合おう」
（国立教育政策研究所HPよりダウンロードできます）

【高知県】

国語学習シート〔10〕 根拠の明確な文章の構想
〔12〕 情報を集めよう
〔33〕 文章推敲シート
〔50〕 社会で話題になっていることについて考えよう
（高知県単元テストシステムよりダウンロードできます）



【高知県】

伝える・伝わるワーク P.26～31 調査結果の報告文の書き方
P.50～55 調査結果に対する意見文を書く問題
（各校に一部配付されています）

